

## すてきに泳がせたいよね!



泳がせてくる!!



私も作ろうかな~!

きてみて幼稚園でこいのぼりを作ったたんぽぽ組。翌日、「あ~こいのぼり、どうする?」と言った子がいました。すると、「こうやって窓を海みたいにして、そこに泳がせてあげたいよね?」と友達が提案します。「こいのぼりって海にいるんだっけ?」と言葉を掛けると、周りの友達も「あっ、違った!やねよりたかい~だから、空だよな?」「そうだ!じゃあ、海じゃなくて空っぽくよう!」その一言で、部屋を空のようにすることに決まりました。そうと決まったら、こいのぼりに目を描いたり、吹流しを作ったりするかと思いきや・・・この日はこいのぼりをどんな風に部屋に飾るかの相談に夢中でした。

そして次の日。完成まであとちょっとのこいのぼりを見て、「そうだそうだ、今日こそ目をつけよう。」とこいのぼり作りが盛り上がり始めました。完成して、「できた~!」と嬉しそうにする子、「一人じゃ寂しいから、子供のこいのぼり作ろう。」と思いついて作り始める子、「ちょっと、泳がせてくる!」と外に走りに行く子など、それぞれの“嬉しい・楽しい”の気持ちで溢れました。

あつまりで、「こいのぼりも、みんなにっこりで嬉しそうだね~!」と話をすると、「待って待って!空っぽくしてない!」と子供たち。たんぽぽ組のこいのぼり作りは、まだまだ続きそうです。

“みんなのこいのぼりを泳がせたい!”と提案や製作をする姿に、クラスへの愛着が増えていっているのかなと思いました。みんなのこいのぼりが空に泳ぐのが楽しみです。